

参加者氏名：尾本 由紀子

卒業年：2001年 卒業学部：経営学部

「現地を訪問して想うこと」

今回、実際に現地へ行き、今置かれている、福島の現状を肌で感じる事が出来た。人から話を聞くことでも現状は把握できるが、足を運ばないと、結局は福島県の今の大変さが分からないのではないだろうか。現地へ足を運び、肌で感じ、実際見聞きし、体験することが大切ではないのか。一泊二日だけではもったいないので、前泊を含め、五泊六日の福島滞在であったが、本当に行って良かったと思える福島訪問であった。特に福島は地震のほかに、原発の問題があり、他の県と違い、一層復興に大変な面がある。

それをいかにして、私達が手助けして行けるのか、微力ながら身近な人々に、今の福島の現状を伝え、募金や、福島の良さを分かってもらえる旅を勧めることによって、少しでも復興の役に立てることが、今の私に出来る、唯一のことではないかと感じた。

東北の人々、全体に言えることは、日本人の本来の良さである、謙虚さと忍耐強さを兼ね備えていることである。

行く先々での温かいおもてなしに感激し、また訪れてみたい県、それが福島であり、東北ではないだろうか。